者はその年の総会で表彰を受ける．また学術賞および奨励賞の受賞者は大会で受賞講演を行うものとする．

11. 受賞者には，学術賞，奨励賞，論文賞とも，賞状および副賞を贈呈する．

付　則

1．この規程は平成10年10月31日より施行する．
2．平成14年10月12日一部改訂．
3．平成15年10月11日一部改訂．
4．平成21年5月13日一部改訂．
5．平成27年12月17日一部改訂．
6．平成28年7月8日一部改訂
7．本規程は評議員会の決議を経なければ変更できない．

日本花粉学会会誌投稿規程

1．会誌には，会員（会員以外の共著者を含んでもよい）からの投稿による花粉や胞子に関する原著論文，短報，学術資料，総説，解説などを掲載する．

2．原著論文，短報は未発表の研究論文とする．学術資料は各分野における貴重な観察結果，技術の紹介および学術研究上の資料となるものとする．総説・解説は，特定の問題に関する最近の知見や研究動向について，関連する文献とともに総括的に議論・解説したものとする．総説は著者の観点を明確化し，解説は他分野の会員にも理解しやすく記述すること．このほか，学会や会誌に対する提案，花粉や胞子に関する話題，人物や著書の紹介などの記事を掲載する．

3．投稿にあたっては，「投稿規程の細則」，最近号の掲載形式に従って原稿を作成する．細則に従わない原稿は受付けないことがある．

4．原著論文および短報は，編集委員長の依頼した2名の査読者によって審査を受けるが，その他の原稿を含めて最終的な採否は編集委員長が決定する．編集委員長は原稿について加除修正を求めることがある．

5．原稿の掲載が編集委員長によって承認された日をもって受理の日とする．原稿の掲載は原則として受理順とするが，編集の都合上前後することがある．

6．原著論文の長さは刷り上がり12ページ以内とする．ただし，分野，内容により編集委員会の決定により16ページまで認めることができる．短報および学術資料は8ページ以内，その他の記事は4ページ以内とする．また，総説は12ページ以内，解説は原則として8ページ以内とする．

7．指定のページ数を越える部分の掲載料金，その他掲載に要した料金（カラー製版印刷費など）は，著者の負担（郵送料を含む）とする．著者負担金の詳細については細則第8項に規定したとおりとする．

8．本誌に掲載された論文等の著作権は，日本花粉学会に帰属する．図表等の転載は学会の許可を受けることが必要である．

9．投稿論文の研究について，他者との利害関係の有無を記載した利益相反（conflict of interest）に関する自己申告書を提出する．

10. 本規程の改定は編集委員会の議を経て，評議員会の承認を得て行うものとする．

投　稿　規　程　の　細　則

1．原稿は以下の項目とする．
　1）表紙　　2）本文　　3）表
　4）図　　5）図表の説明
　6）利益相反にかかる自己申告書*
　（＊花粉学会ホームページより様式をダウンロードして記入）

2．表紙には以下の事項を番号順に記載する．
　1）発送年月日　　2）論文等の種別
　3）表題，氏名，所属，住所を和文と英文で併記
　4）欄外見出し（3を参照）
　5）本文の枚数　　6）表の枚数
　7）図の枚数　　8）図表説明の枚数
　9）校正送付先（責任著者の氏名，住所および電話・ファックス番号．電子メールアドレスを明記する）

3．表題は内容を具体的にかつ簡潔に表現したものとする．また，欄外見出しは和文15字，英文35字以内とする．

4．本文の書き方
　1）和文の場合，原著論文は原則として，英文要約，緒言，方法，結果，考察，和文要約，（謝辞），引

Presented by Medical*Online

用文献の順に項目を設けて記載するものとする．短報には項目を設ける必要はないが，英文要約と引用文献は必ず記載する．英文の場合，いずれの原稿も和文の表題と要約を引用文献の次に記載すること．英文要約は250語以内とし，要約の後に改行して5語以内のキーワードをつける．その他の原稿はとくにスタイルを指定しない．

2）原稿はA4横書き，1ページ30行前後とする（刷り上がり1ページの目安：24文字15行／枚×6枚）．原稿の左右，上下には充分な余白（約3cm）を設ける．

3）普通に用いられている外国語の術語，物質名はできるだけカタカナ書きとする．

4）生物の学名はイタリックの指定をする．

5）数字はすべてアラビア数字を用い，数量の単位はなるべくSI法による．

6）引用した文献は引用箇所の右肩に両カッコをつけて，引用順に番号を記す．また，以下の例にならい，引用文献欄で列記する．ただし，総説の場合は本文中に第1著者名と年号（カッコ内）を記し，引用文献欄での配列はアルファベット順にしてもよい．

（例）

(1) 花園太郎・奥山みどり・池辺満作：雄性配偶子の分化に及ぼす温度の影響．花粉誌　40, 123-129（1994）.

(2) Hanazono, T., M. Okuyama and M. Ikebe: Effects of environmental factors on differentiation of male gamete. *Jpn. J. Palynol.* 45, 65-73 (1994).

(3) 佐々木正己：ニホンミツバチ．海游舎　191 pp（1999）.

(4) 山川一男：花粉学．博文社　pp. 72-83（1992）.

(5) Orthon Wells: Palynomorphology. Longman pp. 135-137 (1985).

(6) 飯山次郎：性決定と化学物質．高岡晋作編，遺伝と化学．三陽書房　pp. 45-65（1991）.

(7) Pfahler, P. R.: Pollen storage effects on early seedling growth in *Zea mays* L. *In* O. L. Mulcahy and A. Ottaviano (eds.), Biotechnology of Pollen. Springer-Verlag pp. 147-152 (1987).

(8) 片岡裕子・守田益宗・三好教夫・河室公康：バイカル湖湖底堆積物200mコア（BDP-96）の花粉分析学的研究．日本花粉学会第39回大会講演要旨　p. 8（1998）.

(9) Shichi, K., T. Goebel, M. Izuho and K. Kashiwaya: Climate amelioration, abrupt vegetation recovery, and the dispersal of *Homo sapiens* in Baikal Siberia. *Sci. Adv.* 9, eadi0189 doi: 10.1126/sciadv.adi0189 (2023).

(10) 厚生労働省：アレルギー疾患対策基本法．（2014）　https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=78ab4117&dataType=0&pageNo=1（2020.5.20閲覧）.

5．英文については，科学英語のわかる，英語を日常語とする人の校閲を受けていることを原則とする．

6．図表等の書き方

1）図表は原則として1ページに1つずつ記載し，それぞれの欄外に必ず，著者名と図表の番号（表1，図1など）を記入する．

2）図表の挿入位置は本文の欄外に朱書きして指示する．

3）著者の原図はそのまま製版できるように，鮮明に描く．図表には希望する縮尺を明示すること．

4）図表の説明は和文または英文（英文がのぞましい）とし，別紙にまとめる．図表の説明は本文を参照しなくてもわかる程度に簡潔に記載する．

7．原稿の送付

投稿原稿は原則として，A4版の用紙に出力可能な電子ファイルを，学会誌編集事務局宛に，電子メール（原則として10MB以内）で送付する．表紙と本文はMS WordあるいはPDFファイルで，図はPDF，JPGあるいはTIFFファイルで，表はPDF，MS WordあるいはExcelファイルで送付することが望ましい．ただし，投稿時の図ファイルの解像度は300dpi以下とする．受理後，印刷用に投稿時よりも解像度のよい図ファイル（600dpi以上）を送付する．

電子メールでの投稿が困難な場合（大容量ファイルを送付する場合も含む）は，原稿を保存した電子記録媒体あるいは紙媒体の原稿も認めるが，投稿方法の詳細について編集事務局に予め確認しておくこと．

8．著者負担金

1）制限ページ内の掲載料金は無料とする．

2）制限ページを越える場合は，超過1ページごとに5,000円の掲載料金を徴収する．

3）別刷りの必要部数と表紙の有無について，初校時に，編集委員長へ連絡すること．印刷業者から著者へ納入された別刷りの経費および送料の支払

Presented by Medical*Online

い手続きは，著者と印刷業者間で行うこと．

4）原著論文，短報，学術資料，総説および解説を除く記事については，原則として別刷りは作成しない．著者の希望により作成した場合，原著論文等に準じ別刷り料金を徴収する．

5）図をカラー製版印刷した場合，経費は著者負担とする．

6）編集事務局から専門家に英文校閲を依頼した場合，経費は著者負担とする．

9．一般公開

会誌に掲載された原稿は学会誌刊行から約1年後にJ-STAGEにおいて一般公開される．なお，著者が希望し，編集委員会が認める場合には，J-STAGEでの即時一般公開する．

10．その他

1）印刷原稿や記録メディアで投稿する場合，郵送あるいは宅配便等で編集事務局に送付する．

2）編集委員長は著者から原稿を受取ったとき，受取日を付して受取証を送付する．

3）編集委員長は投稿論文の掲載を承認したとき，著者に受理通知書を送付する．

4）著者校正は初校のみとする．校正に際してミスプリント以外の訂正や変更は許されない．

5）図表等の転載にあたっては，本誌綴込みの転載許可申請書に必要事項を記入の上，編集事務局に送付する．

11．細則の改定は編集委員会の承認を得て行うものとする．

Instructions to Authors

1. Japanese Journal of Palynology is a refereed research journal in all aspects of palynology, a discipline dealing with pollen and spores. The Journal publishes **Research Article, Short Communication, Scientific data, Review**, and **Commentary**, submitted by the members of the Palynological Society of Japan. Nonmembers, however, can co-author the manuscripts with at least one member of the Society.

2. **Research Article** and **Short Communication** report results of completed studies that are previously unpublished elsewhere. **Scientific data** include technological advances, observational findings and research data new and noteworthy to palynologists in general. **Review** and **Commentary** provide comprehensive discussions or synthesis of a specific subject in palynology with references. **Review** should reflect clearly the authors' own views on the subjects and topics covered in the article. **Commentary** should be referred to the subject so that members from other disciplines in palynology would understand it easily. Book reviews, portraits of researchers, and other information appropriate for the Journal will be considered for publication.

3. Before submission, authors should consult "Preparation of Manuscripts," published in the most recent issue of the Journal. Manuscripts, which do not follow the instructions, may be returned to authors without review.

4. Manuscripts submitted for **Research Article** and **Short Communication** will be sent to two reviewers, selected by the Editor-in-Chief, for evaluation and recommendation on the suitability for publication. The Editor-in-Chief is responsible for reviewing manuscripts submitted for **Scientific data**, **Review**, and **Commentary**. The final decision on acceptance or rejection of all the manuscripts is made by the Editor-in-Chief. The Editor-in-Chief may ask authors extra revisions of the manuscripts, in addition to the reviewers' comments and suggestions.

5. Date of acceptance is the date the Editor-in-Chief gives the final decision of acceptance for publication.

6. Normally **Research Articles** should not exceed 12 printed pages. However, in exceptional cases, where the subject matter necessarily requires additional space, 16 printed pages may be allowed at the discretion of the Editorial Committee. **Short Communications** and **Scientific data 8 printed pages** and other miscellaneous articles 4 printed pages. **Review** and **Commentary** are, in principle, not exceeding 12 and 8 printed pages, respectively.

7. Authors cover all costs necessary for publication, such as extra pages and color figures, including shipping fee. Page charges and other miscellaneous costs are

Presented by Medical*Online